【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公開番号】特開2011-5307(P2011-5307A)
【公開日】平成23年1月13日(2011.1.13)
【年通号数】公開・登録公報2011-002
【出願番号】特願2010-229483(P2010-229483)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３５０Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３３２Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成23年2月4日(2011.2.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
遊技領域に遊技媒体である玉を打ち込むことで遊技を行い、大当たりとなったときに行なえる単位遊技の回数であるラウンド数がラウンド抽選によって変動するように構成された遊技機の遊技情報を遊技者向けに表示出力する台別情報表示端末であって、
前記遊技機側から出力されるアウト信号、セーフ信号および大当たり中信号に基づいて、大当たり中に打ち込まれた玉数を表わす大当たり中アウト数および大当たり中に払い出された玉数を表わす大当たり中セーフ数を計上する遊技データ取得手段と、
前記大当たり中アウト数、前記大当たり中セーフ数、若しくは前記大当たり中アウト数と前記大当たり中セーフ数との差分である大当たり中出玉数が、ラウンド数毎に設定された予想範囲のいずれに属するかにより、前記遊技機の大当たり時に実際に遊技が行なわれたラウンド数を特定するラウンド数特定手段と、
特定された前記ラウンド数を出力するデータ出力手段と、
を備えたことを特徴とする台別情報表示端末。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記課題を解決するために本発明は、
遊技領域に遊技媒体である玉を打ち込むことで遊技を行い、大当たりとなったときに行なえる単位遊技の回数であるラウンド数がラウンド抽選によって変動するように構成された遊技機の遊技情報を遊技者向けに表示出力する台別情報表示端末であって、
遊技機側から出力されるアウト信号、セーフ信号および大当たり中信号に基づいて、大当たり中に打ち込まれた玉数を表わす大当たり中アウト数および大当たり中に払い出された玉数を表わす大当たり中セーフ数を計上する遊技データ取得手段と、
大当たり中アウト数、大当たり中セーフ数、若しくは大当たり中アウト数と大当たり中セーフ数との差分である大当たり中出玉数が、ラウンド数毎に設定された予想範囲のいずれに属するかにより、遊技機の大当たり時に実際に遊技が行なわれたラウンド数を特定す

るラウンド数特定手段と、
特定されたラウンド数を出力するデータ出力手段と、
を備えたことを主要な特徴とする。